



特別記念号



創立二十周年記念を迎えて

理事長 隅 一 清

平成五年五月に、野沢の水間貴美子前会長の自宅で近所の障害を持った方々や高齢者の方を集めて人間の港と名づけて、ささやかな、集いが誕生して二十年になります。現在副理事長をお願いしている員見先生が、勤務されていた神奈川県七沢温泉近くにあるリハビリセンターに治療に来ていて知り合いになったメンバーも多く、会の世話人などをしていました。

移送サービスも、無論ボランティアですから、運営は東京都からの助成金でまかなってまいりました。創立者の水間さん自身も障害をお持ちなので、不自由な体を移送ドライバーに託して、行政への問題提起を熱心に続けてこられました。

移送サービスに於いては、世田谷区が全面的に協力して発足した世田谷ミニキャブ区民の会が障害を持つ方の足として活動していました。

水間さんは、青少年育成を会の事業の一つに掲げて、自宅で個人指導をしたり、施設を訪ねて講演会等も多く行ったりしていました。私も当時運転ドライバーとして協力してきました。

また、大多和晃紀先生（日本文化大学）の歴史講座も開かれ、それが元となって、歴史散策の旅が年に何回となく開かれ、鎌倉、深大寺や柴又の帝釈天等を訪ねました。先生が高齢になって退会された後、私が月一回のドライブ旅行を企画して、実施してきました。旅行会社を通さず、すべて事前に下見をして、トイレや食事の場所等を店の休日を利用して、亡くなった妻と下調べをしてきました。約十五年近く、障害があつて、一人では外に出られない人を中心に、花を訪ねての旅と称して行ってきました。また、年に二回は研修旅行で、泊まりの旅行も企画して、ケアマネジャーやヘルパーの力を借りて、温泉も楽しんでもらいました。

車椅子十五台を持って、国営武蔵丘陵森林公園に行った時は、ボランティアも十五名参加してもらい、車椅子を押ししてもらいました。

会員も担い手も高齢化して、今までのようにスムーズに行事ができなくなってきましたが、頑張っています。



会員の皆さまには運営協力等をお願いして心苦しいのですが、区からの助成金も頭打ちで、今年度から、移送ドライバーの支給率を5%減額しております。今年の二十周年を、一つの区切りとして、安全で、使い勝手の良い移送サービスが続けて参りますので、何卒宜しくお願い致します。通院、通所に限らず、お買い物や、お友達訪問、気晴らしのミニドライブ等にもご利用下さい。また、ご近所にお友達等で、移送事業にご協力を頂ける方がおられましたら、ぜひご紹介下さい。運転講習会（二回）等もありますので、ご相談下さい。

皆さまと二十周年記念総会でお会いできるのを楽しみにしております。

細井広沢と満願寺

大井町線等々力駅近くに致航山満願寺という寺があります。伝承によれば平安時代末期の創建とされ、一四七〇年(文明二年)に奥州(武蔵)吉良氏の祈願寺として世田谷城の出城である兔々呂城(現在の都立園芸高校)に再興された真言智智山派の寺院です。因みに等々力の地名は兔々呂城(とどろき)から名づけられたという説もあります。現在でも都立園芸高校の正門から入ったところに兔々呂城社と刻んだ石が置かれています。私が住んでいる中町一丁目には戦前兔城会という隣組の組織がありました。

世田谷百景のひとつである満願寺は国指定の史跡である細井広沢(1658-1736)の墓があることと知られています。細井広沢は儒学者、書家、篆刻者で幕府側用人柳沢吉保に二百石で召し抱えられました。広沢は剣術道場で堀部安兵衛と知り合い、吉



良郎討ち入りにも口述書の添削などで協力しました。広沢は晩年多摩川を愛し、蕉林庵玉川の号を用いました。満願寺本堂は文化勲章を受け、成田山新勝寺、五島美術館や成城五丁目にある猪俣邸を手掛けた吉田五十八が設計したもので、一九七〇年に再建された近代建築に生まれ変わりました。山門の致航山の額は細井広沢、本堂の満願寺の額は広沢の子九草の筆です。



隣接の玉川神社は満願寺が土地を寄進したもので、等々力溪谷に沿う等々力不動尊は満願寺の別院です。また末寺として等々力村西光寺・深沢村医王寺・野良田村金剛寺・下野毛村善養寺など六カ寺を擁していたという記録があります。

春の境内の枝垂れ桜 秋の公孫樹の紅葉が見事です。
 当会顧問 松宮 丞二



ひまわり句会

菅野孝夫 選

水の音すこし高鳴る猫柳
 神田川花の終ひの雨となる
 伊勢丹のマヌカンの顔春の雪
 大谷のり子

雪予報確かめて行く本門寺
 英王子福島に来る雪降る日
 桃色と白と薄日に木瓜の花
 小田原郁代

不細工のどこか憎めぬ雛かな
 孫の手の結んで開いて草青む
 自転車に犬乗り馴れて花吹雪
 亀井 歌子

立春や馬齢重ねて鼠年
 降り注ぐ恵みの雨や桜二分
 挽き立てのコーヒーの香に春惜しむ
 堀之内千代

本番に少し残して追儺豆
 春の波無粋なテトラポッドにも
 もう一日待つて欲しき花の雨
 小松原錦子

着膨れの背中やはらか満員電車
 宮沢みど

立春の満月雲を従へり
 流水の上で舵取る尾白鷺

長寿と文化

副理事長 員見芳房

太古より人々は一生懸命生き抜いていました。人々は快適な生活や衣食住の満足を求めて働き、産業を進展させ、肉体的な強制からの開放や価値観の自由、少教者、弱者救済により公正など、毎日の生活の安心安全を保障するさまざまな制度を定めてきました。そして現在、医学、公衆衛生の進歩と相まって長寿の社会が実現しました。

国連の2010年版世界人口推計によりみると、1950年の世界の総人口は25.3億人で、そのうち65歳以上の人口は1.3億人、つまり19人に1人が65歳異常でした。最近の2010年には68.9億人のうちの6.2億人と、11人に1人の割合に増えました。将来2060年には96.1億人のうちの22.4億人、ほぼ4人に1人が65歳以上と予測されています。社会の長寿化は、日本のみならず、世界的な現象と言えるでしょう。

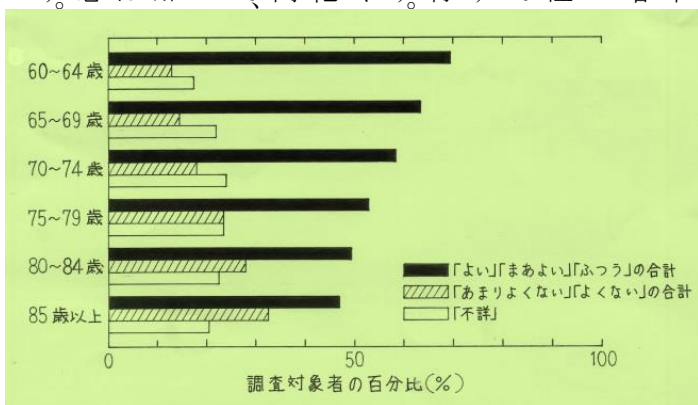
平成25年版高齢社会白書に「健康状態に関する意識」という調査報告（平成22年）が収められています。図に掲げましたグラフは、調査結果の数値を「よい」「まあよい」「ふつう」の各数値の合計、「あまりよくない」「よくない」の各数値の合計、「不詳」の3群に分類して作図したものです。

85歳以上をも含めて、どの年齢層をみましても「よい」「まあよい」「ふつう」の合計が「あまりよくない」「よくない」の合計を上回っており、高齢者の圧倒的多数が日々健やかに暮らしているのが窺えます。

長寿社会にあっても、社会の根幹、経済の成長の主役を担うのは現役世代です。とは言え、高齢者にも社会に寄与できる役割があるのではないかと考えております。そこで、文化を意識した生活を提案してみました。文化は社会の一員として身につけた日常の行動様式と定義されます。

渋谷のスクランブル交差点の円滑な人の流れ、公共のトイレの清潔さ、お辞儀、落し物を交番に届けるといった行動の背景には他者への心遣い、気配りがあります。私たちにとって当然な行動が、伝統の作法、祭り、和服などと共に、外国の日本文化愛好者を増やしています。

季節の行事の飾りつけ、花を活ける、庭木の剪定や草取り、自宅前を掃く、外出着と普段着の使い分けなど、長年の経験で培った独自の感性や品性に照らして良いと感ずることを行ってみます。良い行動や習慣は文化の魅力を高めますので、これも一つの社会参加の形式ではないかと思っております。



絵てがみの会開催!

ひまわりの集いでは、書道教室や俳句に親しむ会等を開いています。この度、絵手紙教室を新しく始めることになりました。初めての人も、すぐに親しめますので、ぜひお集まり下さい。

- 日時 毎月第三水曜日 一時半～三時半
- 会費 三百円（当日のお菓子代）
- 道具 会で用意してありますので体一つで参加して下さい。
- 会場 基本的には下馬のボランティアセンターですが、会場が変わる場合もあります。
- 先生 御代川道子先生、等々力近辺のデイホーム等で、入所されている方々と楽しく描いています。



行事報告

◎小田原曾我梅林の旅

三月一日(日)

朝からどんよりとした曇り空で、今にも降り出しそうな天候を気にしながら、野沢を出発しました。海老名SAでトイレ休憩をして、大井松田のICを出る頃には、雨も降ってきました。幸い小雨なので曾我の別所梅林にバスが到着して散策ができました。梅林は満開で、紅梅、白梅、しだれ紅梅も交じって、見事でした。下見に来た時は、早咲きが少し咲いていていただけだったので、安心しました。ソフトクリームを食べたり、お土産を買ったりしてから、昼食場所の湯河原温泉に向かいました。

昼食場所は、湯河原にある、区の指定保養所になっている、ニューウェルシティ湯河原というホテルでした。帰路は小田原周辺が混んでいたもので、山に上り、箱根新道から、小田原へ出て東名で帰宅しました。参加者三十三名



◎伊豆小室山公園

四月十九日(日)

天気予報だと晴の予想だったので、曇り空でパツパツしない空を見ながら、野沢を定刻に出発しました。久しぶりに栄楽観光の御夫妻の笑顔と共に東名高速へ！途中海老名SAで最初のトイレ休憩です。日曜日とあって大混雑でした。小田原厚木道路を経由して伊東の街から、小室山公園へ到着、つつじも開花したばかりでしたが、我々を迎えてくれました。

楽しい昼食の後は、元気な人はリフトで山頂へ向かいました。晴れていれば富士山や相模湾、大島なども見えるそうです。

リフトに乗らない人は、お土産物コーナーのぞいたり、広場を散策したりして楽しんでいました。

ボランティアのOさんが今回はラジコンでなく、今話題のドローンを飛ばして、周囲の人の注目を浴びてご満悦でした。

帰りは伊東にある、道の駅で夕食の買い物をして、一路東京へ・・・

途中いつもの如く渋滞にまき込まれながら七時頃には野沢に到着しました。雨には降られずに、両手いっぱいのお土産を持って、ご自宅へ・・・参加者三十二名



日本善意銀行より

平成26年度助成事業で

金壱十五万の助成金を頂きました！

いつも、ポリシヨイサーカスの見学や、美術館の招待などでお世話になっている日本善意銀行より、今年度は福祉器具購入助成金ということで、金十五万円を頂きました。

車椅子は現在八台位あり、利用会員に何台か貸出しているのですが、事務所には三、四台あり、ひまわりの集いの旅行等に使用しているのですが、今回はストレッチャーを購入しました。

いつもはミニキャブ区民の会に借りに行っていたのですが・・・最近はリクライニング車椅子での移送を希望される人もおられるのですが、リクライニング仕様の車椅子は、四、五十万します。

ストレッチャーも通常は三十万位するのですが、重たくて、長さ

があるので、とても事務所には置けないので、特別に岐阜のメーカーに依頼して折りたたみ式のストレッチャーにしました。収納にも場所を取らず、助かっています。

なお不足分は会から補填しました。



行事予定

七月に福祉バスでの日帰り旅行を実施！

昨年二度、福祉バスを使つてのドライブを実施しましたが、バス代が二回で三十五万円かかりました。七月は十五万円、十月は二十万円です。会から半分以上の援助をしました。今年は一回しか実施できませんので何卒ご理解の程宜しくお願い致します。

その代わり、ボランティアが協力できる時に福祉車両での同行旅行を実施します。（年一回）

今年の福祉バスの旅実施日程

○日時 七月十二日（日）野沢九時出発

○行程 野沢～湾岸道路～東関道路～

酒々井PA（休）～佐原香取IC下

車～伊能忠敬記念館見学～潮来

水生植物園見学～昼食～道の駅

いたこで買物～東関東自動車道

～野沢

○会費 車椅子での乗降の方

一人 八千円

通常車椅子使用の方

一人 七千円

*自宅～野沢送迎の方は別途
 一千円かかります。



◎暑気払いの食事会

例年、狛江のイタリアレストランで、納涼食事会を開いてきましたが、参加者の八割の方を移送するのに、昨年は会の車両五台、タクシー一台を使用しました。

現在、土曜日に動けるドライバーは三人しかないのと移送事業もあるので、今回は近場で探すことになりました。

三軒茶屋、学芸大学、自由が丘近辺だと、タクシーを利用しても安く行けます。

また、バス、電車を使つて参加できるので、会の車両二台位で済みそうです。

○日時 八月二十一日（土）十一時半～

○場所 自由が丘駅より徒歩五分

○店名 イタリアンレストラン
 バッポアンジエロ

○会費 一人三千五百円（飲み物は別）

○詳細 参加希望者は七月末までに連絡下さい。送迎します。

*お店は完全バリアフリーではありませんのでご了承下さい。店内での車椅子移動は難しいです。二F

へはエレベーターがありますが、店内、トイレ等に二～三段の段差もあります。

この店は宇津木氏の紹介です。



東京都目黒区自由が丘 1-25-12
 TEL: 03-5729-4339

◎被災地を訪ねる旅

あの忘れようにも忘れられない東日本大震災から四年が過ぎました。

連協の杉田会長が先日、北鳥山の施設の方々と現地を訪れてきました。

復興は全然形が見えていないのが現状だそうです。巨大な堤防と十五米近いかさ上げの土台工事が進んでいるので、海はまったく見えなくなり、建物が建つのは、いつになるやら・・・といった様子です。

北鳥山の施設の障害のある方々は、年に何回も現地を訪ね、ボランティアの貝の洗浄を手伝ったりして、一週間位ボランティアをして帰ってくるということです。

連協では、今年九月頃に、観光バスで、現地を訪ねて、現況を、会員に見てもらうことになりました。十七団体の役員や会員を伴つて二泊三日の旅を準備しています。車椅子の方は、行動、宿泊等に無理がありますが、会員の参加を募っております。

詳細は、七月頃には、お知らせしますので、ご協力できる方は、ぜひ参加して下さい。



第10回通常総会及び

創立20周年記念式典（案内）

今回は創立20周年記念式典と併せて法人取得第10回（通算21回目）の通常総会を開きますので、皆様の参加をお待ちしております。

記

◎日 時 6月21日（日）午前11時から
 ◎会 場 三軒茶屋キャロットタワー
 26階スカイキャロット

◎総会議事 平成26年度事業報告
 " 移送事業報告
 " 会計報告
 " 監査報告
 " 予算案
 その他 平成27年度事業計画案

◎記念式典（総会終了後、同会場で開催）
 予定時間 12時30分～15時

- ・開会の言葉
- ・理事長挨拶
- ・来賓挨拶（2～3名を予定）
- ・乾杯
- ・懇親会（全員着席です）
- ・アトラクション
- ・閉会の言葉

*懇親会に出席される方は
 会費三〇〇〇円を頂きます。

*同封のハガキで6月6日（土）必着にて
 ご返事下さい。尚欠席される方は
 「委任状」をお願い致します。

*総会出席者は総会資料を必ずご持参下さい。

総会（記念式典）会場案内図

三軒茶屋キャロットタワー26F
 レストランスカイキャロット
 電話 03-5430-1185



キャロットタワー2階より、26階レストランスカイキャロット・展望台ロビー専用エレベーターがあります。

◎理事会を開催します

総会・記念式典の前に理事会を開催します。理事の方は、現地キャロットタワー内会場に十時までにお集まり下さい。当日の進行予定等を打ち合わせたいと思います。尚今年は理事・監事等の改選はありませんので、宜しくお願いします。

編集後記

今年も魔の？四月がやってきました。前期の三月末までの試算表ができるのが、移送料の請求書や、ドライバーに支給する手数料の計算等があるため、四月二週になり、早くても、十日前後になります。区への決算書や助成金の申請書提出期限が二十三日と定められているので、実質二週間しかありません。本業のクリーニング店もシーズンとあって、大忙しなので、数字を見るのは、一杯飲んだ夕食後になります。

毎夜十二時頃まで、電卓を叩き、申請書類に鉛筆で記入し、娘が翌日パソコンで打ち込みます。申請書類には、数字だけでなく文面作成もあるのです、それもワープロしてもらっています。山積している二十周年記念誌の原稿には、一切手がつけれません。

記念誌も、今回は、総会当日にぜひ手渡ししたいと思っております。ひまわり通信も特別号で、製作中です。私ができるなくなったら・・・なんて考えていられません。外野は、無責任で、大丈夫！ あなたは後十年、十五年はできるから・・・なんて言っています。 S記

「ひまわり通信」76号 特別記念号

2015年6月15日発行

編集 特定非営利活動法人

ヒューマンハーバー世田谷

編集責任者 隅 一清

住所 世田谷区野沢3-4-18-102

TEL 03-3487-5081

FAX 03-3422-9281

発行人 障害者団体定期刊行物協会

世田谷区砧6-26-21（定価100円）